

もっと、知りたい。TOKIWAのコト。

学校法人常磐大学 広報誌
TOKIWA POST [トポス]

TOPS

vol.
98

September.2024

▶ 特集

新B棟 完成

- ・私たちと新B棟を巡ろう！
- ・健康栄養学科×マルトによる商品開発プロジェクト

▶ News & Topics

大学・短期大学、高校、智学館、幼稚園のニュースを紹介

▶ Toki no Sho / トキノショ

大学・短期大学の教員が執筆した著書を紹介

▶ Toki no Wa / トキノワ

部活動紹介

- ・高校「女子バスケットボール部」
- ・智学館「演劇部」

新たな「学び」と「交流創出」の場
——… ついに完成

New Building

\\ B //



『新B棟』



新B棟竣工記念式典・見学会を実施しました。

2024年3月28日、常磐大学・常磐短期大学新校舎「新B棟」竣工記念式典および見学会が実施されました。常磐大学創立40周年記念事業の一環として建設された新校舎は、健康栄養学科をはじめとした多くの学生の「学び」と「交流創出」の場として期待されています。

式典では、小櫃重秀理事長、富田敬子学長、学生代表の椎名美晴さん（健康栄養学科）が、それぞれ関係各所への感謝や今後の展望を述べ、新たな教育の拠点に期待を寄せました。また式典後の見学会では、来賓の方々が、新しい講義室や実習室、実験室等の設備一つひとつを見学され、様々な学修環境への配慮に驚かれています。

「新B棟」が常磐大学・常磐短期大学で学ぶ学生の学生生活の充実に寄与することが期待されます。





私たちと新B棟を巡ろう！



1階▷すべての学生が集える共用スペース

1階 交流ホール・ピロティと、学生の動線にも配慮した講義室を配置



交流ホール

玄関を入ると広がるコミュニケーションスペース。多くの学生がそれぞれの目的で活用することが可能です。

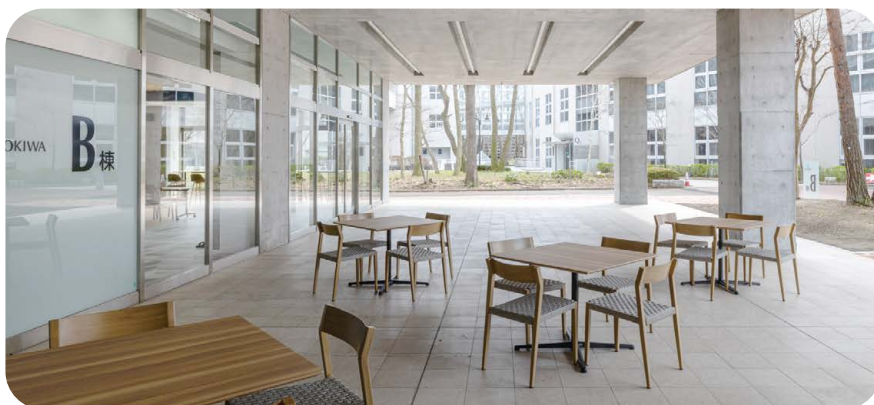


(左) 人間科学部健康栄養学科 4年

しいな みはる
椎名 美晴

(右) 人間科学部健康栄養学科 4年

なかの まあお
中野 真碧



ピロティ

壁のない吹き抜けのフリー空間には、自由に利用できる屋外用テーブルが設置されています。



講義室

全学部で使用可能な各種講義室。形状に応じて天吊りモニターを設置するなど視認性にも配慮しています。



人間科学部健康栄養学科 4年

にいやま りゅうへい
新山 龍平

2・3階▷人間科学部健康栄養学科の専用スペース

-各施設の主な科目と学びを紹介します-

各実習室、準備室、ロッカー室など、関連する各室の連携に配慮したフロア構成

2F



給食経営 管理実習室

「給食経営管理実習」
大量調理の知識や技術
だけでなく、作業指示書
や工程表も試行錯誤し
ながら学んでいます。



「臨床栄養学実習Ⅰ」
様々な疾病や食事療法を学び、対象者
に沿った献立作成について学びます。

調理実習室



「栄養教育論実習」
模擬栄養指導を何度も行い、栄養教育に
加えプレゼンテーション力を身につけます。

栄養教育実習室



産学官連携「常磐大学×マルト」 商品開発プロジェクトを発表!!

この商品開発プロジェクトは、人間科学部健康栄養学科の学生（食品栄養研究会所属）と株式会社マルトが、茨城県民の野菜摂取量の拡大を目指して、2023年7月より開始したものです。開発された商品は、れんこんやかぼちゃ、にんじんをふんだんに使った「いがっぺカレー」、ブロッコリーやかぼちゃを使った「ビザ」、にんじんを使った「キャロットケーキ」、トマトや枝豆などを使った「831（やさい）だんご」の4商品で、いずれも茨城県産の野菜が多く使われています。また、商品のパッケージデザイン等は人間科学部コミュニケーション学科の学生が担当したため、より学生主体で開発した商品が完成しました。今回は、その中の「いがっぺカレー」をご紹介します。



いがっぺカレー

約70gの茨城県産野菜がゴロゴロと入った食感の楽しいカレー。お子さんや辛いものが苦手な方も、おいしく野菜を摂ることができるよう、辛さ控えめに仕上げられています。

パッケージ
デザイン

販売価格：540円（税込）

販売店舗：マルト全店
（勿来駅前店を除く）

開発協力：株式会社 磯山商事

③F 研究および実験実習環境に配慮したフロア構成



臨床栄養実習室



分析室

「生化学実験」
実験手順や器具の取り扱い方について学び、各種測定法やデータ解析法を学習します。



「臨床栄養学実習Ⅱ」
医療現場を想定した個人栄養指導で、症例に応じたアセスメント方法を学びます。



実験室

開発担当者 Voice



人間科学部健康栄養学科
4年 荒井 陽菜



人間科学部健康栄養学科
4年 會田 琴乃

産学連携の貴重な経験を今後も生かしていきたいです！

野菜の切り方から食べ応えと食べやすさにこだわり、幅広い層に支持される味を目指して、試行錯誤を繰り返し開発を進めました。商品開発に関わることで、様々な課題に直面し、自分自身の視野の広がりを感じることができました。管理栄養士を目指す者として、大変貴重な機会を持つことができました。



人間科学部健康栄養学科
准教授 飯村 裕子

学内での学びを社会に生かす重要性を感じています

本品の開発には、11人の学生が携わっています。商品開発に取り組むことは、地域で起きている問題に現実に向き合うことにもつながり、とても大事な活動であると考えています。今回は授業で学んだ知識と実験実習での経験を活用し、商品開発から販売まで進めていく過程で、学生たちの成長する姿を見ることができました。

大学

地域連携シンポジウムを開催

3月2日、2023年度地域連携シンポジウム「新しい価値の創造 ～産官学の協働で持続可能な社会を実現する～」を開催しました。

第1部の地域連携活動実践報告では、本学と自治体・企業・市民団体との連携協働事例について、次の3つの事例が報告されました。

- ①「地元食材の認知度向上とその活用
～「いばらきの地魚プロジェクト」実践報告」
(株式会社ヨークベニマル・人間科学部健康栄養学科)
- ②「古民家の再生と活用 ～笠間市富田家住宅主屋を事例に」
(笠間市教育委員会 教育部生涯学習課・総合政策学部総合政策学科)
- ③「大切な人を亡くした子どものグリーフサポート
～場づくりに向けて」

(茨城県立中央看護専門学校・看護学部看護学科)

第2部では、第1部の関係者の方々をパネラーとしたパネルディスカッションが行われました。企業・自治体・学生・教員それぞれの立場から、連携・協働の可能性および持続可能な地域連携活動についての意見が交わされました。

常磐大学地域連携研究支援センターでは、地域の方々と連携し地域課題の解決や、新たな価値の創造を目指します。



大学

産官学が連携し、デジタル人材を育成

総合政策学部経営学科3年次の必修科目「ビジネス専門演習」では、これまでの「経営・マネジメント分野」「商業・マーケティング分野」「財務・会計分野」クラスに加え、2023年度から、「商業・マーケティング分野 (ICT マーケティング)」クラスを開設しました。

新たな分野では、産官学 ((株) アプリシエイト、水戸商工会議所、水戸市、常磐大学) が連携し地元企業のウェブサイトを作成するだけでなく、公開後のアクセス解析、解析結果に基づく改善提案まで行います。クラス内でチームを編成し、チームごとに水戸市内にあるカフェと老舗和菓子店のウェブサイトを立ち上げました。

約9カ月にわたる、取材・企画提案・制作・公開 (検証・バグ修正)・運用 (アクセス解析・改善) の工程を実践したのち、最終段階として、2024年1月19日「産学官連携ICTプロジェクト」成果報告会を

開催し、各チームのプレゼンテーションの結果、和菓子店のウェブサイトを作成したDチームが優勝。審査委員長を務めた専門家の方から「レスポンス対応などユーザビリティが考慮され、ウェブ解析のアクセスログデータに基づいた企画提案もビジネス的視点からも十分なレベル」と高い評価を得る結果となりました。

経営学科では、地域社会と連携し地域企業で活躍できるデジタル人材の育成を推進していきます。



大学

第1回 海外看護研修を実施

2024年3月10日～17日、第1回海外看護研修が韓国の大邱カトリック大学看護学部を研修受け入れ先として実施されました。

研修では、大邱カトリック大学看護学部の教員による韓国の保健医療制度に関する講義や一次救命処置の講義と演習、大邱カトリック大学看護学部キャンパスや大学病院の見学が行われました。また、看護に関する理解を深めるだけでなく、滞在中の様々な異文化体験や、英語・韓国語・日本語・ボディランゲージによるコミュニケーションを通じた学生間の交流なども活発に行われました。



学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらずさらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などを紹介します。

大学

地元食材を活かしたスポーツ補食スイーツ「TOKIWA ぽてらん」を開発

近年、健康志向によりスポーツにおける健康、体力作りが盛んになっています。トップアスリートだけでなく、学生をはじめ一般のスポーツ愛好者において、競技時における補食はパフォーマンスの発揮や疲労の軽減などの観点から注目されています。

この度、常磐大学人間科学部健康栄養学科・基礎栄養学研究室の住吉克彦教授の指導の下、住吉ゼミの学生ならびにOB・OGを中心に、地元食材を活かし、スポーツに適した栄養素を踏まえた補食のレシピ開発を行いました。商品化に向けて地元にて洋菓子店を営むパティスリーシャロンとの共同開発を行い、製造販売の実現に至りました。

製品名は、「TOKIWA ぽてらん」。使用した茨城県産の芋のポテトの「ポテ」と、「潜在能力」や「将来の可能性」の意味を持つ

ポテンシャルの「ポテ」、スポーツの基本であるランニングの「ラン」から「ぽてらん」と命名しました。



高校

未来を見つめる修学旅行

12月、2年生が修学旅行で沖縄に行ってきました。平和祈念資料館やひめゆりの塔では戦争の凄惨さを再認識し、シュノーケリングなどのマリン体験では沖縄の美しい自然を満喫しました。平和と自然という、代え難い美しさを体感し、未来について思いを巡らせた修学旅行となりました。



高校

新たな旅立ち・新たな出会い

常磐大学体育館を会場として、3月に卒業式、4月に入学式を挙行了しました。3年間の思い出を胸に新たなステージに踏み出す卒業生の表情は誇らしく、高校生活の一步を踏み出した新入生の表情からは大きな希望と少しの不安を垣間見ることができました。両式典ともに、多くの保護者に出席いただき、厳粛かつ壮大に実施することができました。



高校

より良い社会の姿を描いた探究

3月は探究学習の総決算として様々な発表会が開催されました。特進選抜コース2年生の個人課題研究では1年間の研究成果を発表しました。多くの困難を乗り越えた生徒には安堵と充実した表情が見られました。特進コース2年生は水戸市や笠間市と連携した地域課題解決型の探究に取り組みました。高校生の柔軟な発想力に市長から高い評価を頂くとともに、生徒も身近な社会の課題に気づき、自らの生き方を考えるきっかけにもなりました。



高校

硬式野球部 屋内練習場が完成

小吹グラウンド敷地内に屋内練習場が完成しました。ブルペン3カ所、バッティング4カ所が取れる広さとなっています。

3月28日には使い始めにあたって式典が行われ、校長から「感謝の気持ちを常に持ち続け、この練習場でさらに力をつけ頑張ってほしい」という激励の言葉を頂きました。主将からはさらなる飛躍を誓う言葉がありました。今後の野球部の活躍に期待しましょう。



智学館

合唱部第8回定期演奏会

3月20日、合唱部第8回定期演奏会を開催しました。2019年3月の第7回演奏会以来コロナ禍によるブランク期間は5年の長期に及び、現役部員たちに演奏会のノウハウを直接体験した者はいません。しかし、12人のOB・OGから協力の声が上がリ、演奏会の実現の日を迎えます。当日は、卒業生を含む大勢のお客様に歌声を聴いていただくことができました。お寄せいただいたアンケートの一部を紹介します。「胸が熱くなる忘れられない演奏会でした」「一人ひとりの頑張り、卒業生を交えた重厚感あふれる歌声は本当に素晴らしかったです」「智学館の絆よ、永遠に!」



智学館

大相撲水戸場所観戦

初夏を思わせる好天に恵まれた4月26日、アダストリアみとアリーナにて開催された「令和6年春巡業大相撲水戸場所」を全校で観戦しました。午前中の稽古から幕内の取組終了までは数時間に及ぶ長丁場でしたが、初っ切り・横綱土俵入り・弓取式など、テレビでしか見たことのないシーンの数々に歓声を上げながら、最後まで飽きることはありませんでした。厳しい稽古を終えてキッチンカーの列に並ぶ力士たちに手を振ると、満面の笑みが返ってきました。写真撮影にも気軽に応じてもらうことができ、日本の国技が一気に身近な存在となる一日でした。



智学館

梅染め探究を地域に還元 ～水戸まちなかフェスティバルで ワークショップ～

5月3日、3年次生は「水戸の梅染めの明日を考える会」の一員として、「水戸まちなかフェスティバル」に出展しました。昨年度から探究を続けてきた和紙染色の技法を活かして挑戦した梅染めのうちわ作りワークショップのブースは、予約待ちができるほどの大盛況でした。

朝から夕方まで頑張った生徒たちからは口々に、「またやりたい」という声がかかるほどの実りある経験となりました。また、今回のイベントをきっかけに複数の出展依頼を頂き、今後の展望も大きく広がる有意義な一日となりました。



幼稚園

年長組で田植え

5月2日、年長組で田植えを行いました。代掻きをした田んぼの中はフカフカで、恐る恐る田んぼに入る子どもたち。泥だらけになりながらも、一生懸命手で苗を植えることができました。田植えが終わると、「おにぎりにして食べたいね」と早くも収穫への期待が高まっていました。これから稲の生長を子どもたちと見守り、発見を楽しんだり食物ができるまでの大変さを味わったりしながら育てていきたいと思います。



幼稚園

年中組親子遠足 (日立シビックセンター科学館)

5月9日、年中組の親子遠足(日立シビックセンター科学館)に行ってきました。天球劇場(プラネタリウム)では、黄道上にある12の星座について(アニメーション仕立ての分かりやすいお話)知ることができました。科学館の展示スペースには、科学の様々な分野から、テーマごとのコーナーが設けられており、実際に試したり遊んだりしながら、科学の面白さや不思議さを体験することができました。気温が低かったこともあり、屋上での昼食は取れませんでした。広い多目的ホールにシートを敷いて、保護者が作ってくれたおいしい手作り弁当をみんなでいただきました。楽しい時間をみんなで過ごすことができた一日でした。



幼稚園

カナダ ランガラ・カレッジ学生 との交流会

5月28日、多様な人々との交流をねらいとして、国際交流語学学習センター主催で、カナダからランガラ・カレッジの学生13人が来園し、年長児との交流会が行われました。英語でのリズム遊びで緊張感がほぐれた後、短大幼教の木村ゼミの学生16人が「けん玉に挑戦」「紙風船遊び」等、日本の伝統的な遊びのプログラムを紹介してくれました。最後にうちわで紙風船を落とさず運ぶグルーブリレーも行われ、集中してエキサイティングな活動でした。園児にとっては、海外のランガラ・カレッジの学生、短大生と共に、様々なコミュニケーションの方法を通して、気持ちを通じ合う喜びを味わえた貴重なひとときとなりました。



公認心理師スタンダード テキストシリーズ⑱

司法・犯罪心理学

人間科学部 教授
寺村 堅志

下山 晴彦、
佐藤 隆夫 他（監）
原田 隆之（編著）
2024年2月
ミネルヴァ書房



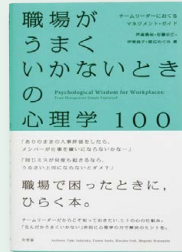
公認心理師スタンダードテキストシリーズ第19巻目の
司法・犯罪心理学の入門書です。第3章「犯罪原因
論とリスクファクター」の執筆を担当しました。

職場がうまくいかないときの 心理学100

—— チームリーダーにおける
マネジメント・ガイド

人間科学部 教授
渡辺 めぐみ

芦高 勇気
渡辺 めぐみ 他（著）
2023年12月
有斐閣



チームリーダーにおける心理学の研究に基づいたマネ
ジメント・ガイド。現場で直面しがちな100の困ったシ
チュエーションを想定し、具体的な解決のヒントを提示
しています。

データ利活用のビジネスと法務

総合政策学部 准教授
奥野 辰広

大井 哲也、
岡辺 公志（編著）
2024年6月
中央経済社



データビジネスに造詣のある法律家×実務家×研究者
の三者がタッグを組み解説した1冊。第1章データビ
ジネスの潮流「生活者行動データの調査分析手法」に
ついて執筆を担当しました。

看護学専門分野教科書シリーズ 精神看護学援助論

看護学部 准教授
福田 大祐

小俣 直人、
近田 真美子 他（編著）
2024年1月
理工図書



思春期から青年期に発症の多い摂食障害とパーソナリ
ティ障害について、最新の診断基準と事例をもとに、
それぞれの症状の特徴や治療方法、看護援助を解説
しました。

〈子どもの遊びと児童文化をつなぐ〉 子どもの文化

幼児教育保育学科 准教授
渡辺 賢治

宮野 周（編著）
2024年3月
教育情報出版



子どもが主体的に生活していく中でつくる身近な「遊
び」や「文化」について、わかりやすく示しています。
2章「児童文化・子ども文化と子ども」の執筆を担当
しました。

読んで観て聴く 近代日本の仏教文化

幼児教育保育学科 准教授
渡辺 賢治

森 覚、大澤 絢子（編）
2024年3月
法蔵館



新旧メディアが緩やかに共存した時代、バラエティ豊
かな仏教文化の諸相を読み解きます。第四章「露伴
文学と仏教—その受容と生成について—」の執筆を
担当しました。

「オープントイレ」で保育が変わる トイレ環境から子どもの発達と 主体性を支える

幼児教育保育学科 准教授
村上 八千世

村上 八千世（著）
馬場 耕一郎（監）
2024年3月
中央法規出版



「オープントイレ」とは子どもにひらかれたトイレという
意味です。子どもの排泄の自立は子どもにも養育者にも
重要なことですが、環境によって発達は変わります。

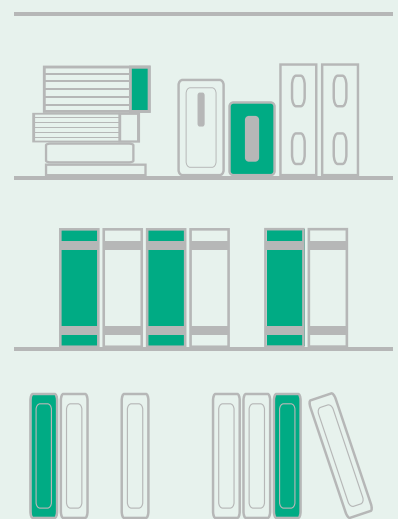
からだがかたどる発達 人・環境・時間のクロスモダリティ

幼児教育保育学科 准教授
村上 八千世

根ヶ山 光一、
外山 紀子（編著）
2024年3月
福村出版



食・排泄・タッチ・事故・ボディイメージ・遊び・保育・
音楽など、子どもやおとなのからだところの発達の
諸相をクロスモーダルに捉えようとする1冊です。



常磐大学高等学校 女子バスケット ボール部

**最後まで諦めず、何事にも全力で取り組む。
そして常に進化し続ける!**

昨年、新チームに代わりし頃、部員数がとても少なく練習がままならない時期があった「女子バスケットボール部」。しかしそんな中でも、部員全員が一丸となり同じ目標を掲げ、声をかけあいながら練習に取り組んだ結果、2023年度の総体水戸地区予選では見事、地区優勝を果たしました。今年は早くも6月中旬から1・2年生で構成された新体制での練習がスタートした同部。今、県大会ベスト8を目標に掲げ、日々練習に励んでいます。

バスケ好きが集まった部活 切磋琢磨しながら技術向上中!

私たち女子バスケットボール部は、全員がバスケに真剣に向き合い、楽しんで活動しています。そして最後まで諦めず何事にも全力で取り組むプレイヤーが多いのが特徴です。私たちは日々の練習で、お互いのプレーに関して思うことや改善すべきことを率直に指摘し合って共有しています。部員は皆、小・中からのバスケ経験者ばかりですので、一人ひとりに知識とスキルがあります。改善点を互いに出し合うことで、自分自身では分らなかった気づきや発見があり、次の練習で前回できなかった点をできるようにすることを意識して練習に取り組みチーム力を高めています。また部活を続けるうちに礼儀や仲間とのコミュニケーション力が身についていると思います。これからも皆で前進続けたいです!



部長 **開原 優** (3年)



「コミュニケーションを密に取れるところが強み」

常磐大学高等学校女子バスケットボール部の強みは、生徒同士、コーチと生徒間のコミュニケーションを密に取れるところ。バスケットボールはコミュニケーションが必要なスポーツなので、普段の他愛もない会話も含めコミュニケーションを取ることを意識しています。また、練習では、生徒の考えを引き出し、新しい気づきや達成感が得られるような指導を心がけています。例えば、味方にパスする際にどういう判断をしたのか。一つひとつのプレーを指導者側ではなく選手目線に立ち、生徒自身から答えを引き出すような問いかけをし、それに対してフィードバックすることを意識しています。そして何より「バスケットボールは楽しい!」ということ、これからも生徒たちと共有していきたいです。



顧問 **早坂 彰恵**

女子バスケットボール部 DATA

部員数: 16人(1年8人、2年4人、3年4人)
活動日: 週6日(火曜日はオフ)

2022年度 活動報告

○関東高校バスケットボール大会県予選
ベスト16

2023年度 活動報告

○関東高校バスケットボール大会県予選
ベスト16
○高校総体バスケットボール競技県大会
ベスト16
○全国高校バスケットボール選手権大会
県予選 出場

活躍中の部活動をピックアップ!

今回は常磐大学高等学校の女子バスケットボール部と智学館中等教育学校の演劇部です。

智学館中等教育学校

演劇部

部員全員、個々のキャラクターが確立していて 演技はいつも本番がいちばんイイ!

3年次生6人に4年次生1人、6年次生5人の計12人が在籍。2023年度は、6月に新人大会、8月に地区大会、9月に智学館フェスティバル、10月に高文連総文祭、12月に中学生発表会、そして3月に県北地区春季フェスティバルと多くの舞台に立ち経験値を高めてきました。現在の活動は3年次生が中心になって行い、2024年度の新人大会は生徒の創作脚本で出場しました。今後も外部大会や演劇フェスティバルに意欲的に参加をする予定です。

面白かった、ファンになった等、観客の方々からの感想が励みに

2年次生までは「楽しく終わればいい」とあまり深く考えず活動をしていました。しかし、顧問の先生から、演劇に対して真剣に取り組むのかどうかを問われたことをきっかけに、部員全員の意識が変わりました。皆で「今までダメだったこと」「変えるべきこと」を黒板に書き出して話し合い、その結果、演劇発表の場で優勝することを強く意識するようになりました。また部活と真摯に向き合うことで、人前で自信をもって話せるようになりました。さらに暗記力が向上したり、他校との交流が増えたりするなど演劇部に入って良かったと実感しています。今後は、県大会を突破して関東大会に出場したいです。



部長 すがや ゆま 菅谷 柚菜 (3年次)



いつも感謝を忘れず演劇に真剣に 生徒が主体となり進める活動内容

演劇の脚本チョイス、配役等、なるべく生徒自身がやりたいものを尊重して決めています。例えば私たちが「この子は違う役が合う」と思っても、こちらからは変更しません。生徒の自主性を重んじて部活動を行うことを心がけています。また、部活動であっても演劇人として「時間を守る、挨拶や『報道相』をしっかりとる、礼儀を大切にする」ことは学んでほしいですし、「学校関係者、保護者、友人などすべての人に感謝を忘れずに舞台上で輝いてほしい」と思っています。演劇部で行う演技や演出には正解がなく、行った努力が必ずしも実を結ぶとは限りません。しかしその努力をした経験は役者を真剣にやらないと得られないもので、それぞれの財産になり、社会生活を送る上で必ずや自分を助けてくれると思います。



顧問 ほし しんや 星 真弥

演劇部 DATA

活動日:月・火・水・金

2023年度 活動報告

- 茨城県高等学校文化連盟演劇部会
新人大会 ベストプレイ賞 受賞
- 茨城県高等学校演劇祭県央地区大会
優秀賞 受賞
- 茨城県高等学校総合文化祭開会式
代表上演
- 第10回茨城県中学校演劇発表会 出場

2024年度 活動報告

- 茨城県高等学校文化連盟演劇部会
新人大会 出場
- 茨城県高等学校演劇祭県央地区大会
出場

Tokiwa Information



常磐の魅力がYouTubeでご覧いただけます。
トボスメイキング動画「TOPOS MOVIE」を配信中!



CLUB MAKING
(高校・智学館)



特集企画 新B棟MAKING
(大学・短期大学)



学校法人常磐大学 CM動画



6月の駅構内
動画広告

YouTubeショート
動画でご覧いただけ
ます。



寄付者ご芳名 (敬称略・五十音順) ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。[2024年1~6月受付分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金

学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、
経済的理由により学業の継続が困難な者に対し
て奨学金を給付し公平な修学機会を与え、もっ
て有為な人材の育成に資することを目的とした
給付型奨学金制度です。

法 人	
芳名のみ公表	株式会社 久信田観光
個 人	
120,000円	齋藤 泰嘉*
芳名のみ公表	石田 脩平*
	江原 麻子*
	小宅 祐輔*
	関 いづみ*
	渡辺 風沙*

常磐大学高等学校 創立100周年募金

常磐大学高等学校の教育活動ならびに学習支援
をさらに拡充させ、生徒の伸びやかな成長を図
るための環境整備事業推進募金です。

法 人	
芳名のみ公表	株式会社 久信田観光
団 体	
5,000,000円	常磐学園同窓会
芳名のみ公表	短歌結社 歌林の会
個 人	
100,000円	横須賀 靖
60,000円	大槻 行徳*
芳名のみ公表	岩間 健一郎*
	内田 和毅*
	川崎 秀典*
	根本 知計
	横山 正和*

教育および学術研究の 充実・発展のための募金

個 人	
100,000円	小松 美穂子

新B棟交流ホール環境整備費

団 体	
3,965,324円	常磐大学同窓会
芳名のみ公表	常磐短期大学同窓会 みわの会

社会福祉士を目指す学生への支援

法 人	
3,200,000円	一般財団法人 安寿苑 (2024年度事業分)

●受付期間中に複数回お申し込みくださいました方は、芳名に*を付しました。

税制上の優遇措置

寄付募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けて
おります。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けるこ
とができます。

寄付募集の詳細については、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] 029-232-2551 [メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

TOPOS vol.98 September 2024

学校法人常磐大学 広報誌【トボス】 2024年9月発行

学校法人常磐大学 総務課広報係

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 TEL.029-232-2511(代)

皆様からの
ご意見大募集!

①印象に残った記事とその理由など ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆様からのご意見・感想をメールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 学校法人常磐大学 総務課広報係

お寄せいただいた中
から、抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズ
を差し上げます。



TOKIWA

<https://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



常磐大学は、令和5年度
(一財)大学・短期大学
基準協会による大学認証
評価の結果、適格と認定
されました。



常磐短期大学は令和2年
度(一財)大学・短期大
学基準協会による認証評
価の結果、適格と認定さ
れました。